



大崎市立古川北小学校
学校だより

よつば

令和6年12月23日 第10号

教育目標

やさしく かしこく しなやかに生きる子どもの育成

【命を大事にすることを基本に】

- ◎思いやりのある子ども（人やものを大切にする力）
- ◎よく考える子ども（自分の考えをもち、表現する力）
- ◎ねばり強い子ども（チャレンジし続ける力）



校木 ケヤキ

2024を振り返って

校長 齋藤 竜一

一年を振り返ると、子供たちは様々な場面で活躍し、成長してきました。行事だけでなく、日々の授業の様子を見てもそのことは感じます。先生方が本気になって子供たちと向き合い、学級づくりを行い、授業改善に取り組んだ成果がはっきりと表れています。

まだまだ行き届かないところはあると思いますが、保護者、地域の皆様と手を取り合ってこれからも進めていきたいと考えています。今後ともどうぞ御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。

ここで突然ではありますが、昨年に引き続き「今年を振り返って校長思い出ベスト4」を紹介させていただきます。

第1位 厄年なのにみんなに助けられ、最高の厄年になったこと

年明け早々警察に捕まり（右折禁止の所を右折してしまいました。皆さんも気をつけて下さい。）、4月から職員数も一気に減らされてしまい（教員不足？）、親父は天国へ旅立ち、何かと大変な一年ではありましたが、子供と職員に助けられ、大変なことよりも日々の楽しさが上回って、良い年になったことが一番の思い出です。

古川北小学校が、これからも笑顔あふれる学校であるように頑張っていきます。

第2位 学校を休まずに来る児童が増えたこと

先月の学校だよりも掲載しましたが、昨年の1学期（4～10月）の皆勤賞70名から、今年は倍近くの約140名まで増えました。1日しか休んでいない児童を入れると200名近くになります。学力テストの点数が上がることも、私にとってははるかに価値のある数字です。

学校に来ることが全てではないけれども、少なくとも頑張って学校で学んだ日数は誇れる数字だと思います。

第3位 保護者・地域の方がたくさん学校に来てくれたこと

今年は個別面談を2回に増やし、大切なことは直接伝え、学校と家庭のつながりを強くしていこうと考えました。また日頃から子供たちの様子を見ていただき、サポートしていただけるようなボランティアを募集しました。

読み聞かせボランティアだけでなく、お掃除指導のお手伝いに来てくださる保護者や図書ボランティア、ミシンや体育（プール監視・マット運動）のお手伝い、校外学習の引率補助など、たくさんの保護者と地域の方に助けていただきました。子供たちもいろいろな方に声を掛けられ、とてもうれしそうでした。

中心となり保護者・地域とのつながりを深めてくれた教頭先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。

第4位 教科担任制・学年チーム制の推進

昨年から取り組んできましたが、今年さらに進めてきたのが「教科担任制」「学年チーム制」です。

6学年を例に取れば、1組の江畑先生が国語・社会・音楽、2組の和音先生が算数・理科・図工を、1・2組とも教えています。学年全体の子供の様子も分かり、学年チーム制の充実にもつながっていきます。また教材研究が半分になることや、1組と2組で教科の進度が異なるということもなくなります。より高い質の授業を提供することにもつながります。子供たちもいろいろな先生と触れ合うことで大きな刺激を受けました。

明日からいよいよ冬休みです。楽しい時間をたくさん過ごして、2025年を元気にスタートできますよう引き続き、よろしくお願いいたします。

それでは皆様、よいお年を・・・。